

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
泌尿器病態学

【研究課題名】リツキシマブ使用 ABO 血液型不適合症例における急性細胞性拒絶反応と遅発性好中球減少症の関連性の検討

【研究期間】

2006年6月1日から2015年7月31日までに当院で施行したリツキシマブ使用 ABO 血液型不適合腎移植症例を対象とします。

研究期間として倫理委員会承認後 ～2017年12月31日

【研究の意義・目的】

腎移植における脱感作療法にリツキシマブを使用すると regulatory B cell depletion(制御性 B 細胞枯渇)により B cell related cytokine storm (B 細胞関連免疫物質の過剰産生)が生じ、結果として急性細胞性拒絶反応の頻度が高くなる可能性が報告されています。一方、リツキシマブの副作用の遅発性好中球減少症も B cell related cytokine storm(B 細胞関連免疫物質の過剰産生)の関与の可能性が報告されています。リツキシマブ使用 ABO 血液型不適合腎移植症例において移植後1年間の急性拒絶反応と遅発性好中球減少症の関連を明らかにすることにより、今後の移植医療の発展につながる可能性を探ります。

【研究の方法】

後ろ向き観察研究にてリツキシマブを使用した ABO 血液型不適合腎移植症例について移植後1年で急性細胞性拒絶反応を合併した合併群と非合併群に分け、各種クリニカルパラメーターおよび遅発性好中球減少症の頻度を比較します。また、多変量解析にて急性細胞性拒絶反応と関連する因子を検討します。

【研究参加拒否について】

本研究に参加したくない場合は下記問い合わせ先まで連絡ください。参加しない場合の不利益はありません。

【研究組織】

研究代表者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話 06-6645-3857

FAX 06-6647-4426

E-mail m9492120@ms.ic.med.osaka-cu.ac.jp